

別紙

歯と口腔の健康づくりの推進に関する  
施策の実施状況（報告）

令和4年度

熊本市



## 1 各ライフステージにおける対策の推進

### (1) 胎児期・妊娠期及び乳幼児期

#### ア 令和3年度の取組結果等

口腔の健康を通して健やかな妊娠生活を支援するとともに、乳幼児の歯と口腔の健やかな発達と楽しい育児を支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
妊婦歯科健診・相談事業（直営）	内容	母子健康手帳交付時に、歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：390回 ・受診者数：2,044人
妊婦歯科健診・相談事業（委託）	内容	母子健康手帳交付時に歯科健診ができなかった妊婦に対して、受診券を発行し、歯科医療機関で歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	受診者数：1,537人
1歳6か月児歯科健診・フッ化物物体験塗布	内容	1歳6か月児健診において歯科健診・歯科健康相談を実施する。また、希望者には、フッ化物物体験塗布を実施する。
	結果	・歯科健診 実施回数：238回 受診者数：5,656人 ・フッ化物物体験塗布 実施者数：5,209人
3歳児歯科健診	内容	3歳児健診において歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：223回 ・受診者数：5,991人
歯科健康教育	内容	子育てサークル等において、むし歯予防講話等を実施する。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、動画の二次元コードを掲載したリーフレットを活用して口腔衛生の大切さについて啓発を行う。
	結果	・実施回数：27回 ・参加組数：150組
歯科健康相談	内容	区役所や子育てサークル等において、歯科健康相談を実施する。
	結果	・妊産婦

		実施回数：13回 相談者数：13人 ・乳幼児 実施回数：93回 相談者数：128人
フッ化物洗口 支援事業	内容	フッ化物洗口の実施を希望する保育所等に対して、洗口剤等を配布するとともに、円滑な実施に係る技術支援を行う。
	結果	実施施設数：111施設（うち新規実施3施設）
保育所等における 歯科健康教育	内容	保育所等において、幼児、保護者等を対象に、歯科講話、歯磨き指導等を実施する。
	結果	・実施施設数：78施設 ・実施回数：84回 ・参加者数：4,097人
乳幼児ママ パパ教室	内容	育児サークル等において、歯科医師等を招いて教室を実施する。
	結果	・実施回数：1回 ・参加組数：7組
保育所等における 歯科健康 診断	内容	保育所等において、園歯科医師による歯科健診を実施する。
	結果	実施施設数：218施設

※ 令和3年度決算額

子育て世代包括支援センター運営経費 65,681千円

妊婦歯科健診経費 3,464千円

幼児健診経費 34,448千円

公立保育園嘱託歯科医手当 2,197千円

公立幼稚園歯科医報酬 1,059千円

保育所等フッ化物洗口事業 385千円

イ 令和4年度の実施内容（令和4年8月末日現在）

令和3年度の実施事業に加え、以下の実施を実施する。

(ア) 子どものむし歯予防に関する啓発動画の二次元コードを満1歳のお誕生日カード及び母子健康手帳別冊に掲載する。

(イ) 1歳6か月児健診時に初期むし歯があった幼児の保護者に対し、電話等による歯科受診を勧奨する。

※ 令和4年度予算額

子育て世代包括支援センター運営経費 68,805千円

妊婦歯科健診経費 2,600千円

幼児健診経費 37,238千円

公立保育園嘱託歯科医手当 2,197千円

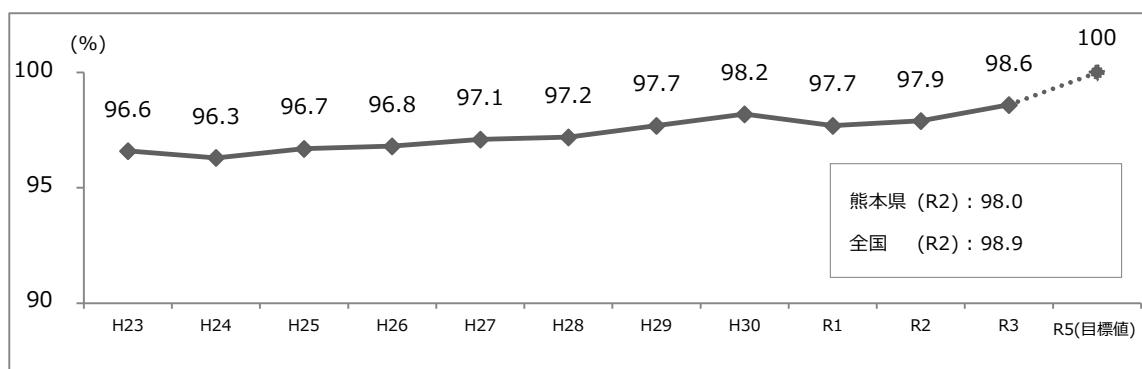
公立幼稚園歯科医報酬 1,060千円

保育所等フッ化物洗口事業 997千円

ウ 成果指標

1歳6か月児でのむし歯のない者の増加

平成23年度 基準値	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
96.6%	98.6%	100%

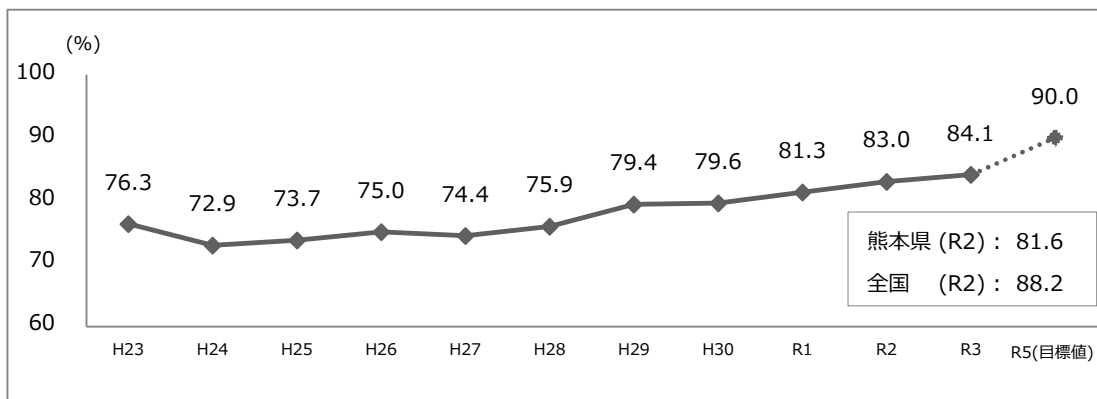


出典：【熊本市】1歳6か月児歯科健診

【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

### 3歳児でのむし歯のない者の増加

平成23年度 基準値	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
76.3%	84.1%	90.0%



出典：【熊本市】3歳児歯科健診  
【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

## (2) 学童期及び中・高生期

### ア 令和3年度の実績結果等

学童期の乳歯と永久歯の生え変わりが始まる時期に、自分の口にあった歯磨き習慣を身に付け、むし歯や歯肉炎のない楽しい学校生活ができるよう支援するとともに、生活習慣の改善によりむし歯や歯肉炎を減少させることができる中高生が増加するよう支援するために、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
小中学生に対する歯科健康教育	内容	小中学生を対象としたむし歯や歯肉炎の予防等の講話や歯磨き指導を実施する。
	結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施校数：48校（うち小学校46校、中学校2校）</li> <li>・実施回数：59回（うち小学校57回、中学校2回）</li> <li>・参加者数：4,243人（うち小学生4,012人、中学生231人）</li> </ul>
小中学校の学校保健委員会に対する歯科健康教育	内容	小中学校の学校保健委員会において、学校や家庭における歯と口腔の健康づくりに関する取組等の助言等を行う。
	結果	実施校数：2校（うち小学校1校、中学校1校）
歯科健康相談	内容	小中学生や保護者に対して、歯科健康相談を実施する。

	結果	・実施回数：6回 ・相談者数：6人
歯科健診	内容	就学時歯科健診及び学校歯科健診を実施する。
	結果	実施校数：138校
フッ化物洗口事業	内容	むし歯予防のため、小学校で週1回法によるフッ化物洗口を実施する。
	結果	実施校数：46校

※ 令和3年度決算額

小学校等フッ化物洗口事業 5,990千円

学校歯科医報酬 31,890千円

イ 令和4年度の実施内容（令和4年8月末日現在）

令和3年度の実施事業を令和4年度も継続して実施する。

※ 令和4年度予算額

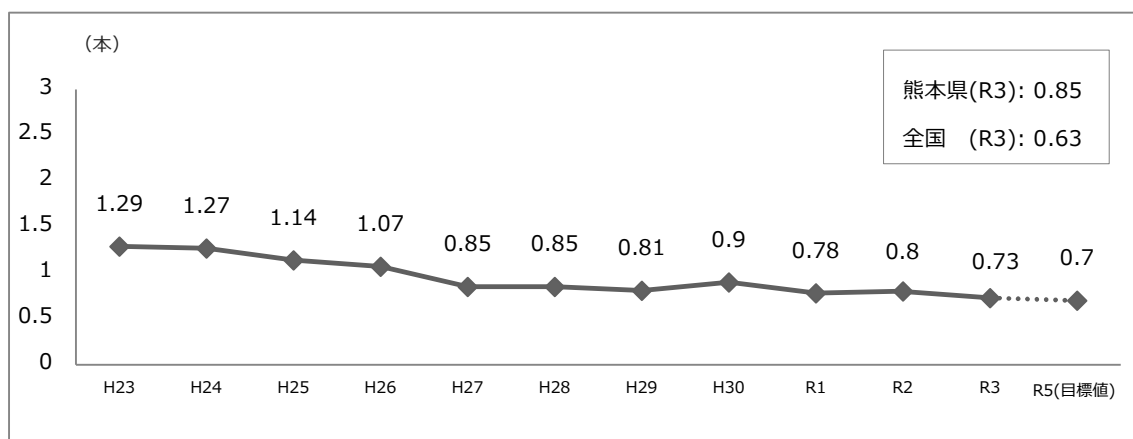
小学校等フッ化物洗口事業 18,603千円

学校歯科医報酬 31,072千円

ウ 成果指標

12歳児でのむし歯のない者の増加（1人当たりむし歯本数の減少）

平成23年度 基準値	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
1.29本	0.73本	0.7本未満



出典：熊本県歯科保健状況調査

(3) 成人期

ア 令和3年度の実施結果等

社会生活を送る上で、歯と口腔の健康づくりが重要であることを知り、自分  
にあった口腔ケアを獲得できるように支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
歯たちの健診	内容	生活習慣が不規則になる時期でもある大学生等を対象に、歯科疾患の予防と口腔衛生意識の向上を目指し、学園祭や区役所実習の学生に対して歯科健診や歯科健康相談を実施する。
	結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
歯周病検診	内容	歯の喪失をもたらす歯周病を予防し、かかりつけ歯科医における定期的な歯科健診を推進するため、歯周病検診の受診に対する支援を実施する。
	結果	受診者数：60人（うち40歳30人、41歳4人、60歳22人、61歳4人） ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度に検診を中止した期間があったことから、同年度の未受診者も対象とした。
歯科健康教育	内容	生活習慣病予防教室において、糖尿病等と歯科疾患との関連について歯科健康教育等を実施する。また、8020教室において、歯科疾患の予防等についての講話や口腔ケアの啓発等を実施する。
	結果	・実施回数：14回（うち生活習慣病予防教室4回、8020教室10回） ・参加者数：233人（うち生活習慣病予防教室41人、8020教室192人）
歯科健康相談	内容	定期歯科健診を推進するため、歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：15回 ・相談者数：27人
健康ポイント事業	内容	スマートフォン専用アプリ「もっと健康！げんき！アップ くまもと」において、歯科健診時に健康ポイントを付与することにより、定期的な歯科健診を推進する。
	結果	ポイント獲得者数：延べ2,811人

※ 令和3年度決算額

歯周病検診経費 194千円

イ 令和4年度の取組内容（令和4年8月末日現在）



令和3年度の取組事業を令和4年度も継続して実施する。歯周病検診については、対象年齢に50歳及び70歳を追加する。

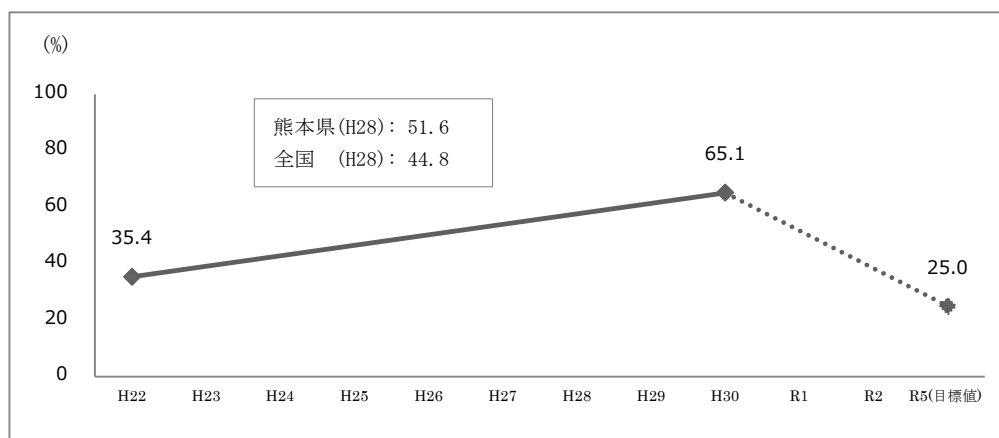
※ 令和4年度予算額

歯周病検診経費 700千円

ウ 成果指標

40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少

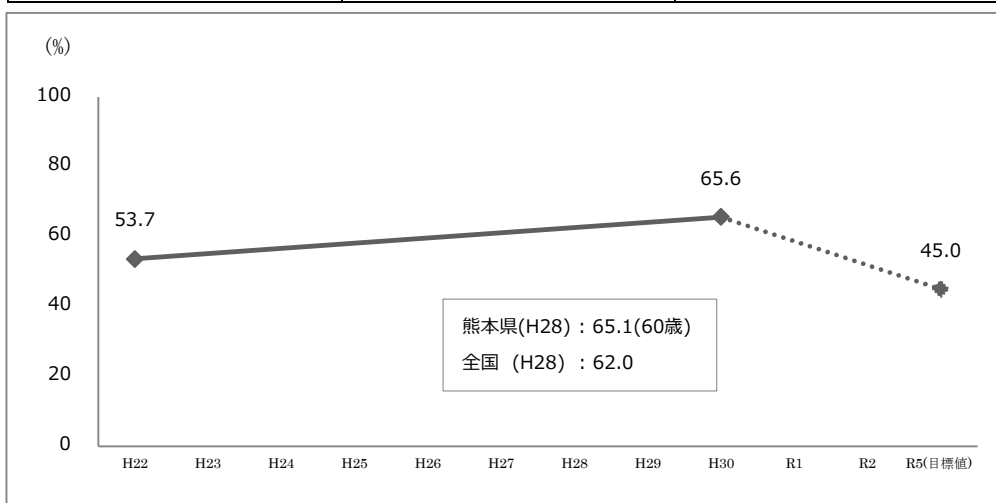
平成22年度 基準値	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
35.4%	65.1%	25.0%



出典：【熊本市】成人歯科健診  
【熊本県】熊本県歯科保健実態調査  
【全国】歯科疾患実態調査

60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少

平成22年度 基準値	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
53.7%	65.6%	45.0%



出典：【熊本市】成人歯科健診  
【熊本県】熊本県歯科保健実態調査  
【全国】歯科疾患実態調査

(4) 高齢期

ア 令和3年度の取組結果等

歯の喪失等による口腔機能の低下を防止し、「食べること」を通じて積極的に社会活動ができるように支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
8020表彰	内容	満80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民を表彰するため事前審査を行い、達成者には表彰状を郵送する。
	結果	表彰者数：43人
歯科健康教育	内容	地域において高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアの必要性に関する歯科健康教育を実施する。
	結果	・実施回数：14回 ・参加者数：233人
歯科健康相談	内容	高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアについての歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：16回 ・相談者数：44人
後期高齢者歯	内容	後期高齢者の口腔機能の改善を図り、生活習慣病、誤

科口腔健康診 査		<sup>えん</sup> 嚥性肺炎等の疾患を予防するため、歯科口腔健康診査 を実施する。 ※ 受診対象年齢：75歳以上
	結果	受診者数：734人（令和4年5月末日暫定値）
短期集中予防 サービス（口 腔機能向上プ ログラム）	内容	口腔機能向上や改善を目的としたプログラムを実施 する。 ※ 事業対象者：要支援1又は要支援2の認定を受け ている者及び本サービスを利用することにより機 能の維持・改善が見込まれる65歳以上の者
	結果	・実施事業所数：6事業所 ・利用者数：4人 ・実施回数：12回
介護予防の啓 発	内容	高齢者の通いの場（サロン）等において、オーラルフ レイルを含めたフレイル状態の把握及び予防に関す る講話を実施する。
	結果	・実施回数：46回 ・参加者数：延べ773人

※ 令和3年度決算額

後期高齢者歯科口腔健康診査 3,648千円

短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）事業費 40千円

イ 令和4年度の実施内容（令和4年8月末日現在）

令和3年度の実施事業を令和4年度も継続して実施する。

※ 令和4年度予算額

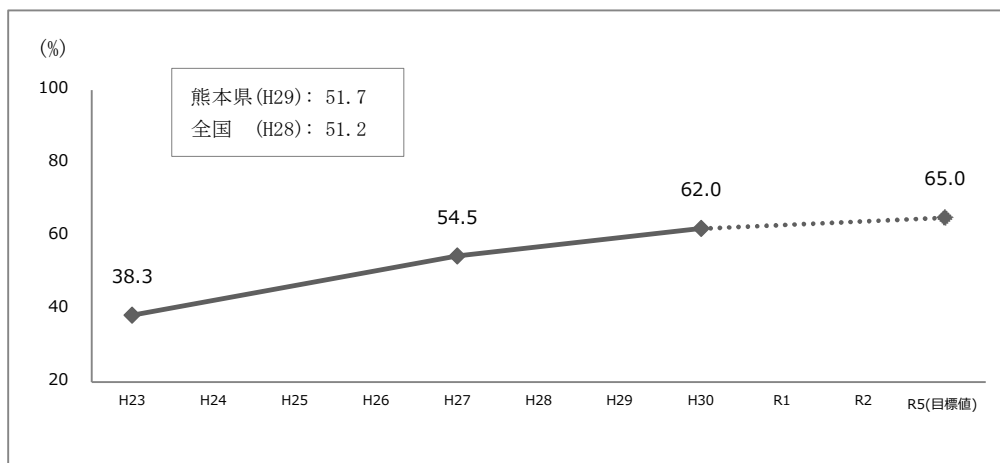
後期高齢者歯科口腔健康診査 6,621千円

短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）事業費 198千円

ウ 成果指標

80歳で20歯以上の自分の歯を有する者（8020達成）の増加

平成23年度 基準値	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
38.3%	62.0%	65.0%



出典：【熊本市】健康くまもと21市民アンケート  
 【熊本県】熊本県健康・食生活に関する調査  
 【全国】歯科疾患実態調査

## 2 歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり

### (1) 令和3年度の取組結果等

校区単位の健康まちづくりの中で歯科保健の活動を推進し、8020推進員を育成・支援するとともに、障がい者等の歯科診療の環境づくりを支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
8020推進員育成事業	内容	8020推進員育成講座を実施し、8020推進員を育成する。
	結果	修了者数：73人
8020推進員活動支援	内容	8020推進員に口腔ケアや歯科疾患予防のアドバイス等を行い、地域での歯と口腔の健康づくり啓発活動の支援を実施する。
	結果	・実施回数：379回 ・参加者数：1,711人
歯と口の健康週間	内容	毎年6月の「歯と口の健康週間」において、地域住民を対象に歯科保健に関する啓発等を実施する。
	結果	・実施回数：67回 ・参加者数：2,635人
校区単位の健康まちづくりや地域のイベント等での啓発事業	内容	校区単位の健康まちづくりイベントや地域のイベント等において、歯科健康相談等を実施し、歯科保健に関する啓発を実施する。
	結果	・実施回数：2回 ・参加者数：326人
障がい児及び発達に不安のある児のむし歯予防事業	内容	未就学児のうち身体障害者手帳、療育手帳又は歯の健康ノートを保有するものを対象として、口腔ケア、フッ化物塗布及び口腔衛生指導を実施する。
	結果	・実施回数：22回 ・受診者数：78人
障がい者通所施設での歯科健康教育	内容	障がい者通所施設において、利用者や施設職員に対して口腔ケアの必要性や口腔機能に関する健康教育を実施する。
	結果	・実施回数：2回 ・参加者数：69人
障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成	内容	障がい児（者）が身近な地域で歯科診療を受けることができるよう、地域の歯科医師及び歯科衛生士の診療の知識等の習得を図る事業を実施する。

事業	結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
歯科救急医療 対策	内容	休日歯科当番医制度により、いつでも安心して適切な歯科診療を受けることができる救急医療体制づくりを実施する。
	結果	通常初期救急体制として、休日の準夜間において歯科診療を実施 ・診療日数：66日 ・診療件数：102件 年末年始初期救急体制として、24時間の歯科診療を実施 ・診療日数：5日 ・診療件数：310件
適切な医療体制の確立	内容	熊本県歯科医師会による障がい児（者）歯科医療提供体制強化事業への支援を実施する。
	結果	熊本県歯科医師会立口腔保健センターにおいて、週6日、障がい児（者）に対する歯科医療を提供 ・診療日数：242日 ・診療件数：2,987件
災害時の口腔ケアの啓発	内容	災害時の口腔ケアの啓発を、地域のイベントを通して実施する。
	結果	・実施回数：3回 ・参加者数：68人 ※ 歯の祭典及び熊本市民健康フェスティバルにおける啓発は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
地域歯科保健 研修会	内容	関係機関・団体と行政が、歯と口腔の健康に関する現状や課題等について共有し、課題解決に向けた取組について理解を深める機会とするため、研修会を開催する。
	結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

※ 令和3年度決算額

歯科保健推進経費 943千円

歯科保健推進事業実施団体に対する補助金 517千円

休日歯科当番医制事業 1,278千円

年末年始急患歯科診療事業 1,293千円

熊本県歯科医師会立口腔保健センター負担金 2,000千円

(2) 令和4年度の取組内容（令和4年8月末日現在）

令和3年度の取組事業を令和4年度も継続して実施する。実施に当たっては、令和4年4月1日に設置した熊本市口腔保健支援センターを中心として、関係部署や関係機関等との連携を強化し、総合的かつ計画的に歯と口腔の健康づくりを推進する。

※ 令和4年度予算額

歯科保健推進経費 1,258千円

歯科保健推進事業実施団体に対する補助金 917千円

休日歯科当番医制事業 1,278千円

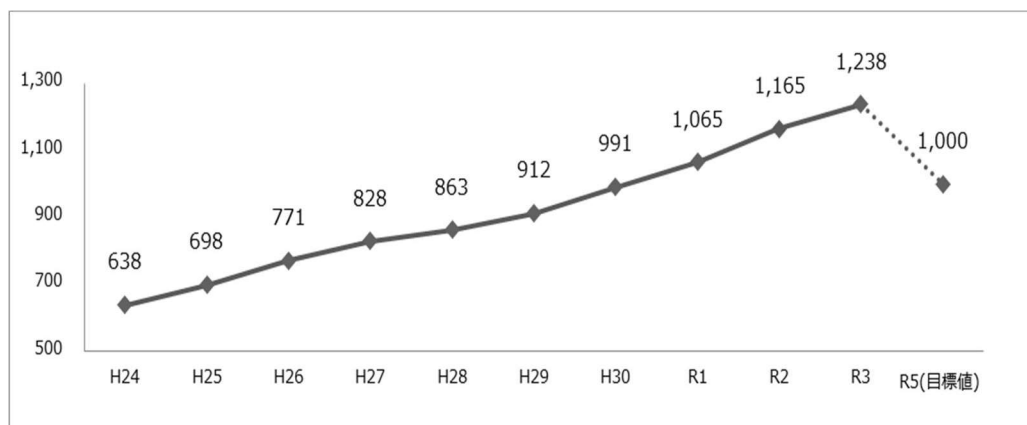
年末年始急患歯科診療事業 1,294千円

熊本県歯科医師会立口腔保健センター負担金 2,000千円

(3) 成果指標

8020推進員の育成数の増加（累計）

平成24年度 基準値	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
638人	1,238人	1,000人 (令和元年度達成済み)



出典：【熊本市】8020推進員育成事業